

(様式 1)

令和 4 年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県空港スポーツ緑地 都市計画課

2 施設所在地
富山市秋ヶ島

3 施設設置年度
昭和62 年度

4 設置目的
航空機の離発着の騒音を緩和するとともに、県民誰もがスポーツや様々なレクリエーションを楽しめることを目的として、昭和62年に開園した緩衝緑地

5 施設概要
敷地面積：13.2ha
主な施設
・陸上競技場：16,746㎡ 400mトラック 8コース、インフィールド芝生舗装
・テニスコート：砂入り人工芝コート 6面
・ゲートボール広場：4面(3月28日インクルーシブひろばの供用開始に合わせて廃止)
・展望広場、芝生広場等

6 指定管理者
株式会社野上緑化

7 指定期間
5 年
平30年4月1日 ~ 令5年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数 (人)

H30	R1	R2	R3	R4
84,609	85,629	67,672	68,332	82,759

(2) 利用(使用)料金収入(千円)

H30	R1	R2	R3	R4
3,871	4,233	3,289	3,455	4,204

(3) 利用料金収入見込み額(利用料金制導入施設の場合)

H30	R1	R2	R3	R4
4,126	4,164	4,202	4,202	4,202

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・利用者数は令和3年度比121.1% (14, 427人増)、有料公園施設の料金収入は令和3年度比121.7% (749千円増)であった。
・新型コロナウイルス感染症対策による行動制限が撤廃されたため、利用者数と料金収入が増加した。陸上競技場はインフィールドの品質向上と利用期間の拡大により、定期利用団体を増やしたことで大幅な利用増加に繋がった。

(2) サービス向上に向けた取組み

・利用者のニーズに合わせて、供用日の追加、供用時間の延長を行った。
・展望広場に回転式回転遊具を設置し、子どもの遊び場を提供した。
・氷菓の販売、ミスト発生機の設置を行い、夏期の利便性向上を図った。
・インクルーシブひろば開設の周知と理解促進を図るため、富山市立新保小学校で出前授業を行った。開設直前にインクルーシブイベントを開催し、インクルーシブ社会の普及に努めた。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

・有料公園施設の利用料金徴収にキャッシュレス決済を導入している。
・平成26年度から有料公園施設のウェブ予約を運用し、予約の簡易化、リアルタイムな空き状況の確認による利用促進を図った。
・テニスコートのポイントカードを配布し、リピーターの確保に努めている。平日17時までの利用又はとやま子育て応援団優待カードの提示で、ポイント2倍とした。
・陸上競技場インフィールドの芝の通年緑化に取組み、サッカー等の利用期間を延長した。
・冬期の利用促進を図るため、そり遊び場を整備し、そりの無料貸出を行った。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

①アンケート結果

実施方法	①公園利用者モニター（10月、11月、3月） ②イベント参加者アンケート（10月、3月）
回答者数	①84名、②65名
結果	①公園を利用しているの評価：満足（75%）、やや満足（17%） インクルーシブひろばの手洗い場だけでなく、トイレにも石鹸を設置して欲しいとの意見があった。 ②イベントは高評価が多く、低評価は一件もなかった。
結果を踏まえた改善事項	手洗い場だけでなく、トイレにも石鹸を設置した。

②その他利用者の声を反映させる取組み

・地域住民、利用団体、協働団体の代表者及び富山県総合体育センター指定管理者による運営評価会議を開催した。
・意見投書箱を設置している。

③主な苦情と対応

・公道側にある高木の枝を剪定して欲しい。⇒緩衝緑地であるため、周辺町内会代表者の了承のもと、剪定を行った。

(5) 個人情報保護の取組み

・個人情報に関するプライバシーポリシーを定め、職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6) 関係団体との連携

・地域の放課後等デイサービスを利用する児童を対象とした「富山県放デイゆるゆる大運動会」を実施した。
・地域の低額有償ボランティア「新保花組」と協働し、花壇植替え作業を実施した。
・地域の放課後児童クラブ「新保こども会」と協働し、鯉のぼりを展示した。
・障がい者就労継続支援事業所「NPO法人すずかぜ工房」と協働し、公園管理作業を通じた自立支援活動を実施した。
・障がい者就労移行支援事業所「ヴィスト株式会社」と協働し、公園維持管理作業を行う就労訓練を実施した。また、トイレ清掃委託により就労の場を提供した。

(7) 施設・設備の維持管理

適切に維持管理を行っている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

非常時の緊急連絡網、非常管理マニュアルの作成、夜間パトロール、強風大雨後の臨時パトロールなど、適切に危機管理・安全管理に取り組んでいる。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	6
無	-
無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

-

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

・インクルーシブ遊具の設置は、国内でも先駆的な事例であり大きな注目を浴びた。これにより、以前から取り組んできた「公園×福祉」の活動も広くPRすることができた。
・「富山県放デイゆるゆる大運動会」など、地元や関係団体とともに活動を行い、ネットワークづくりに努めている。
・引き続き、日常の維持管理に努めるとともに、稼働率向上につながるPRや利用者サービスの向上に向けた一層の取組みを期待したい。